

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2018-509460 (P2018-509460A)

【公表日】平成 30 年 4 月 5 日 (2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-013

【出願番号】特願 2017-550556 (P2017-550556)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/20 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 33/20

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 27/14

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 27 日 (2019.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基礎免疫又は炎症疾患を有する患者において炎症局所炎症症状を治療又は防止するための方法であって、局所炎症の患部に次亜塩素酸組成物を投与することを備え、前記次亜塩素酸は有効遊離塩素を 1 0 0 p p m から 5 0 0 0 p p m 有する、方法。

【請求項 2】

前記基礎免疫疾患は自己免疫状態である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記基礎免疫状態は、全身性エリテマトーデス、乾癬、アトピー性皮膚炎、関節リウマチ、セリアック病、クローン病、潰瘍性結腸炎、血管炎、甲状腺炎、重度の喘息、糖尿病、高免疫グロブリンE症候群、皮膚筋炎、又は多発性硬化症である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記基礎免疫又は炎症疾患は、好酸球増多、薬物アレルギー、食物アレルギー、溶血性貧血、重症筋無力症、全身性血管炎、糖尿病、多発性硬化症（MS）、線維筋痛、脊髄炎、末梢神経障害、パーキンソン病、肝炎、腎不全、膵臓炎、甲状腺炎、移植片対宿主疾患、慢性移植拒絶反応、汗腺膿瘍、成人発症スチル病、全身性発症若年性突発性関節炎（SJIA）、シュニッツラー症候群、ベーチェット病、SAPHO症候群、マクロファージ活性化症候群、家族性地中海熱（FMF）、クリオピリン関連周期熱症候群（CAPS）、TNF受容体関連周期性症候群（TRAPS）、高IgD症候群、間欠熱、アフタ性口内炎、PFAPA（pharyngitis and adenitis）、インターロイキン-1（IL-1）受容体アンタゴニスト欠損（DIRA）、巨細胞性動脈炎、アミロイド症、再発性心膜炎、視神経脊髄炎、筋萎縮性側索硬化症、痛風、糸球体腎炎、骨髓腫、ネザートン症候群、魚鱗癬、及び表皮水疱症である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記局所炎症症状は、結膜炎、ドライアイ、眼の痒み、ブドウ膜炎、ドライ型もしくはウェット型AMD、副鼻腔炎、鼻漏もしくは鼻詰まり、口内炎、咽頭炎、歯肉炎、口内乾燥、気道過敏症、皮膚もしくは粘膜の痛みもしくは潰瘍、蕁麻疹、水疱、及び／又は皮膚の発疹もしくは病巣のうち1つ以上を含む、請求項 1 から 4 のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 6】

前記局所炎症症状は、皮膚、結腸、肺、尿路、膣、骨格筋、靱帯、腱、関節腔、骨、腹膜、腎臓、肝臓、膵臓、又は血管系のうち1つ以上に影響を及ぼす、請求項 1 から 5 のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 7】

前記次亜塩素酸組成物は1日に1～10回投与される、請求項 1 から 6 のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 8】

免疫又は炎症疾患を治療するための方法であって、患者に次亜塩素酸組成物を投与することを備え、前記免疫又は炎症疾患は、好酸球増多、薬物アレルギー、食物アレルギー、溶血性貧血、血管性浮腫、重症筋無力症、バセドウ病、グッドパスチャー症候群、農夫肺、喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、突発性肺線維症（IPF）、嚢胞性線維症、全身性血管炎、糖尿病、多発性硬化症（MS）、脊髄炎、末梢神経障害、パーキンソン病、肝炎、骨髄炎、腎不全、膵臓炎、甲状腺炎、移植片対宿主疾患、慢性移植拒絶反応、汗腺膿瘍、成人発症スチル病、全身性発症若年性突発性関節炎（SJIA）、シュニッツラー症候群、ベーチェット病、SAPHO症候群、マクロファージ活性化症候群、家族性地中海熱（FMF）、クリオピリン関連周期熱症候群（CAPS）、TNF受容体関連周期性症候群（TRAPS）、高IgD症候群、高IgE症候群、間欠熱、アフタ性口内炎、PFAPA（pharyngitis and adenitis）、インターロイキン-1（IL-1）受容体アンタゴニスト欠損（DIRA）、巨細胞性動脈炎、アミロイド症、再発性心膜炎、視神経脊髄炎、筋萎縮性側索硬化症、痛風、糸球体腎炎、ネザートン症候群、魚鱗癬、表皮水疱症、又は骨髓腫から選択される、方法。

【請求項 9】

次亜塩素酸組成物が、皮膚、結腸、肺、尿路、膣、骨格筋、靱帯、腱、関節又は関節腔、骨、腹膜、腎臓、肝臓、膵臓、又は血管系のうち1つ以上に投与される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記次亜塩素酸組成物は、皮膚、眼、鼻腔に、又は注入によって投与される、請求項8に記載の方法。

【請求項 1 1】

アレルギー性喘息、職業性喘息、気管支炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、突発性肺線維症（IPF）、嚢胞性線維症、グッドパスチャー症候群、又は農夫肺から選択された状態を治療するための方法であって、肺に次亜塩素酸組成物を投与することを備え、前記次亜塩素酸組成物は有効遊離塩素を100ppmから5000ppm有する、方法。

【請求項 1 2】

接触性皮膚炎、放射性皮膚炎、皮膚の老化、日焼け、血管性浮腫、蕁麻疹、全身性エリテマトーデス、サルコイドーシス、酒さ（rosacea）、疱疹状皮膚炎、ネザートン症候群、魚鱗癬、表皮水疱症、又は皮膚血管炎、及び痔から選択された状態を治療するための方法であって、前記次亜塩素酸組成物は、有効遊離塩素を100ppmから5000ppm有するヒドロゲルとして皮膚の患部に投与される、方法。

【請求項 1 3】

炎症状態を有する患者において微生物叢を正常化するための方法であって、前記患者に次亜塩素酸組成物を投与することを備え、前記次亜塩素酸組成物は有効遊離塩素を100ppmから5000ppm有する、方法。

【請求項 1 4】

前記次亜塩素酸組成物は、少なくとも1日に1回、少なくとも1週間にわたって、又は任意選択的に少なくとも1か月間投与される、請求項1 3に記載の方法。

【請求項 1 5】

組織の微生物叢の正常化はrRNA遺伝子配列決定法によって決定される、請求項1 3に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記次亜塩素酸組成物は、皮膚、口腔もしくは鼻の粘膜、消化管、又は泌尿生殖器系に適用される、請求項1 3から1 5のいずれか1項に記載の方法。